

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	小城市立小中一貫校芦刈観瀾校
-----	----------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの7本柱」について粘り強く指導してきたことで、学習規律が身に付いてきた。標準学力検査(CRT)の結果において、ほとんどの学年・教科で前年度より伸びが見られた。 小学部・中学部とも、計画的に特別支援教育や人権教育、道徳教育、安全教育、生徒指導に取り組んできたこともあり、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができている。 各学年が活動内容の見直しを行いながら充実した活動ができた。 教職員の業務改善の意識が高まり、小学部・中学部とも時間外在校等時間が大幅に縮減した。
---------------	---

2 学校教育目標	ふるさとを愛し、未来を拓く、心身ともに元気な子どもの育成 ～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～ふるさとを愛し、未来を拓く、心身ともに元気な子どもの育成 ～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆学力向上 ◆多様な活動を促進するための教育活動や働き方の見直し ◆保護者・地域連携の推進 ◆基本的生活習慣の確立と体力の向上 ◆豊かな心の育成 ◆生徒指導体制の確立 ◆小中一貫教育の成果の確認
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(%)	進捗状況と見通し	達成度(%)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学力向上における全職員による共通理解と共通実践	○学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を80%以上にする。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の推進を図る。 ・随時、進捗状況等を確認しながら、確実な履行を進め、達成者を増やしていく。							学びプロジェクト
	○学習規律の確立	○児童生徒アンケートで「よい姿勢で授業を受けている」の達成率を75%以上にする。	・「学びの7本柱(学習規律重点項目)」を児童生徒に配付・確認し、継続した指導を粘り強く行う。 ・年間5回(1学期2回、2学期2回、3学期1回)、「学びの7本柱」について、児童生徒が自己評価する場を設定し、改善を図っていく。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童生徒の規範意識や人を思いやる心に関する質問で肯定的な回答した児童生徒80%以上。	・友達の良いところやしてもらったことを書いて掲示する「ほかほかの木」に取り組む。 ・年間計画に沿った道徳科の授業に取り組むとともに、豊かな心を育む教育活動に年間を通して取り組む。 ・「いじめ防止、心を考える日」に合わせて、全校で人権・同和教育や平和学習に取り組む。							生活プロジェクト
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○担任の先生や部活動の先生など、学校の先生は自分が困った時などに相談しやすいと感じる児童生徒80%以上。 ○「学校はいじめをなくすためにしっかり取り組んでいると思う」と回答した職員90%以上。	・定期的な生活アンケートや教育相談を行い、気になる児童生徒については職員間で情報共有を行う。 ・毎月10日の「いじめ防止、心を考える日」に合わせて、朝の時間に「いじめゼロ宣言」を読み上げる。 ・いじめの未然防止に向けて、構造的グループエンカウンター授業実践に積極的に取り組む。 ・職員研修やいじめ防止対策委員会を設定し、組織的にいじめ防止に取り組む。							
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上。 ●「自分は将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上。	・各学年の実態や学習内容に合わせて、職業について理解を深める時間をとる。 ・構造的グループエンカウンターに積極的に取り組む。 ・進路学習を系統立てて計画し、各学年で充実させる。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 ●家庭教育指針で「朝ご飯をしっかり食べる」の項目の回答を年度当初より向上させる。	・毎日の給食時間にICT教材を活用して指導したり、栄養教諭が各学級を回りながら、食に関する指導を行う。 ・全学年において、年1回以上担任と栄養教諭が連携した食育の授業を行い、食への意識の向上を図る。 ・家庭教育指針を全学年で年3回行い、結果をその後の指導に反映させる。 ・「食育だより」やSNS等を通して、食に関する情報を保護者や地域に発信する。							元氣プロジェクト
	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で250分以上の児童生徒を、小・中学校共に65%以上にする。	・家庭教育指針を全学年で年3回行い、結果をその後の指導に反映させる。 ・委員会活動で運動を行うイベントを開催する。 ・ボールの貸し出しやボールの配布を行うと共に、昼休みに体育館を開放したり、朝遊びを推奨したりして、運動を行う機会を増やす。							
	○小・中学部が、ともに高め合い、進んで行動できる児童生徒の育成	○1・2学期に1回ずつ、小中合同で取り組む行事を行う。 ○小学部と中学部が学年ごとに交流する活動を、年に3回以上行う。	・1学期は体育大会(結団式を含む)、2学期は文化発表会で合同プログラム(全校合唱等)を計画する。 ・2年生と7年生、3年生と8年生などの学年交流を行ったり、中学生が6年生に中学校生活や部活動紹介を行ったりする活動を計画する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日と部活動休業日を毎週水曜日に設定し、全職員で取り組む。 ・長期休業中の年次取得日数を職員1人当たり5日以上にする。 ・職員の勤務状況を把握し、自分自身の働き方改革に対する意識向上と業務の効率化に積極的に取り組む。							教頭
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上したと感じる教員80%以上。	・特別支援教育に関する研修会を計画的に実施する。 ・配慮を要する児童生徒に関する情報共有の場を定期的に設定し、必要に応じてケース会議を実施する。							タコ特1)別添付資料

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(%)	進捗状況と見通し	達成度(%)	実施結果	評価	意見や提言	
○小中一貫教育の充実・活性化	○プロジェクト部会の活性化や校内研究の充実を中心とした、小中一貫教育推進体制の充実	○小中一貫による9年間の教育活動が充実している。」と感じる保護者80%以上。 ○「小中交流授業や小中一貫の取組が充実している。」と感じる職員90%以上。	・プロジェクトごとに重点取組事項を設定をする。 ・小中教職員相互の授業協力体制の整備と小中交流授業の実施する。 ・学校だよりや学校HP等による情報発信をする。							副校長
○コミュニティ・スクールの推進	○地域との交流や地域を生かした体験学習の充実	○「地域との交流や体験学習に積極的に参加している。」と感じる児童生徒80%以上。 ○「学校の教育活動は地域との連携がなされている。」と感じる保護者・職員の割合80%以上。	・地域との連携・交流を生かした活動の設定と工夫した活動を行う。 ・学校だよりや学校HP等による地域連携に関する情報発信を定期的に行う。							副校長

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--